

第44回「みんなのがん教室」開催報告

当院では、地域の皆さまにがんに関する一般的な知識を提供する場として、「みんなのがん教室」を年4回定期的に開催しています。

44回目の今回は、多発性骨髄腫の検査や治療法について、血液内科の専門医師がお話をしました。

第44回みんなのがん教室

開催日時:12月20日(木)15:00~16:30

場所:諏訪赤十字病院 研修センター

参加者:72人

テーマ:「多発性骨髄腫について」

講師:血液内科 内山倫宏 先生



はじめに主な症状について、「高カルシウム血症や腎障害、貧血、骨の痛みや圧迫骨折などさまざまな症状が生じるのが特徴ですが、すぐには症状が現れない人もいます」と説明がありました。

治療については、「一般的には腎障害、骨折などの症状が出た段階で治療を開始します。治療選択にあたっては患者さんの年齢、全身状態、合併症等の条件から患者さんごとに最適な方法を決定していきます」と説明がありました。

最後に、「多発性骨髄腫の治療は近年進歩しており、複数の薬剤を組み合わせた治療戦略を組むことで治療成績は大幅に改善しています。治療経過が長い病気ですが、治療意欲が維持できるよう、さまざまな医療スタッフが連携して治療を支えています」と締めくくりました。

❖ 参加者の声を一部ご紹介します

- 血液検査の重要性、その結果に対する診断の深さを知ることができました。
- 現場の実例からの説明だったので、治療が可能になった薬剤の開発の経過が良くわかりました。
- 前向きなお話をいただき、元気が出ました。

★次回の開催予定★

日時:3月7日(木)15:00~16:30

場所:諏訪赤十字病院 2階 研修センター

テーマ:「がんの放射線治療」

当院の放射線治療科の医師がわかりやすくお話しします。

お問い合わせ:諏訪赤十字病院 がん診療推進室 ☎0266-57-6062